

記載例

景観配慮チェックシート(大樹寺から岡崎城天守への眺望景観保全地域)

眺望景観保全地域内のため、景観配慮指針に沿った設計に努めてください。

行為の場所	岡崎市〇〇町～～	行為の場所の住所を記載
地区区分	☒ 近景保全区域 ☐ 中景保全区域 ☐ 遠景保全区域	必ずどれかにチェック

景観配慮指針

項目		推奨配慮指針（自主配慮）	地区区分	チェック欄	具体的配慮事項又は配慮できない理由等	照合※
建築物及び工作物	高さ、配置	☐ 高さや配置は、岡崎城への眺望を阻害しないものとするよう努める。	近景 中景 遠景	☒ はい ☐ いいえ ☐ 該当なし	ビスタライン中心銚V4～V5間の基準高さを確認し、その高さ未満とした。	
	形態意匠	☐ 眺望点から視認される屋根の形状や素材は、岡崎城への眺望を引き立たせるようなものとするよう努める。 （眺望点に対し平入りの形状、瓦を用いる等）	近景	☒ はい ☐ いいえ ☐ 該当なし	眺望点に対し平入の勾配屋根とし、瓦を用いた。 視認される部分の外壁色は低彩度とした。	
	色彩	☐ 眺望点から視認される建築物等の色彩は、岡崎城と調和するよう、低彩度の落ち着いた色彩とするよう努める。	近景 中景	☒ はい ☐ いいえ ☐ 該当なし		
	広告物等	☐ 広告物を設置する場合は、眺望点から視認されない位置や規模とするよう努める。		☒ はい ☐ いいえ ☐ 該当なし	広告物はアイレベルの高さとした。	
その他景観に配慮した事項		瓦を用いない場合、高さを抑え視認できないようにする。 アンテナや電力線を視認できない箇所に設置する。 など				

市チェック欄

対応する地区について記載

必ずどれかにチェック

「はい」か「いいえ」にチェックした場合は必ず記載

※「具体的配慮事項又は配慮できない理由等」記載文章は特定の敷地に対する文言ではありません。